

しもしに

No.78

2025.11

男女共同参画社会の
実現をめざす情報誌

ソレイユさがみ


ソレイユさがみ
男女共同参画推進センター
Gender Equality Promotion Center

開館 25 周年

Contents

P2・3 特集① ソレイユさがみは開館 25 周年を迎えました！

P4・5 キラリ輝く人

林 加奈子さん（桜美林大学准教授・特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら 副代表理事）

P6・7 特集② 女性活躍推進さがみはら Action2025 記念シンポジウム

P8 提案企画をソレイユさがみで実現しませんか？

ソレイユさがみ市民企画講座

ソレイユさがみは 開館25周年を 迎えました!

「ソレイユさがみ」は、男女共同参画を推進するための活動拠点です

相模原市立男女共同参画推進センターは、相模原市の男女共同参画推進の活動拠点として、2000年4月17日に開館し、今年で25周年を迎えました。

愛称である「ソレイユさがみ」は、325点の応募の中から選ばれました。「ソレイユ(soleil)」とはフランス語で「太陽」を意味し、「夜明けのこない夜はない いつも心に太陽を」との願いがこめられています。



相模原市立男女共同参画推進センター（ソレイユさがみ）概要

目的／女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現を図る。
開館／平成12年4月17日
開所／相模原市緑区橋本6丁目2番1号
開館日等／施設点検等による休館日及び偶数月の第4月曜日、年末年始を除く午前9時から午後10時まで
管理／指定管理者（NPO法人男女共同参画さがみはら）

男女共同参画の推進のため、様々な取組を進めています

ソレイユさがみは、女性と男性の平等の達成と女性のエンパワーメントによる男女共同参画社会の実現を基本理念に、学習機会の提供、情報の収集・提供、活動支援、女性相談などに取り組んでいます。ソレイユさがみの取組の一部をご紹介します。

①学習機会の提供
男女がともに家庭と社会の責任を分かち合い、「自分らしく生きる」視点で、身近なテーマで気軽に学べる講座等を実施しています。

毎年6月の男女共同参画推進週間の時期には「ソレイユフェスタ」を開催し、講演会、セミナー、ワークショップなどを通して、多くの市民の皆様と男女共同参画について考える機会としています。

講座等の情報は、ホームページや市広報紙などに掲載しています。

②情報の収集・提供
男女共同参画に係る資料の収集とともに、おすすめ図書を紹介、図書の貸出しを行っています。

「であいの広場」では、男女共同参画に係るパネル展などを実施しています。また、サークルなどの話し合

③活動支援
一定の要件を満たし、男女共同参画社会の実現に関する活動を行い、ソレイユさがみの事業に参加・協力していただける団体について、登録制度を設けています。登録団体には、施設使用料の減免制度や施設の利用申込期間の特例などがあります。

④女性相談
夫婦、家族、男女等人間関係の問題や就労その他女性が抱える生活上のさまざまな悩みについて、女性相談員が電話や面接（要予約）で相談をお受けしています。女性相談の後に、専門相談が必要な場合は、法律相談や心の相談を実施しています。



ソレイユフェスタの様子

施設の貸出しも行っています

ソレイユさがみの施設は、定員24名から定員180名まで6室のセミナールームの貸出しを行っています。JR橋本駅からペDESTリアンデッキ直結の好立地です。会議や研修などにご利用ください。そして、その機会に是非、男女共同参画の推進についても考えてみてください。

ソレイユさがみ女性相談の概要
▼相談日 毎月第4月曜日、年末年始を除く毎日
▼相談時間 午前10時から午後5時まで（火、木曜日は午前10時から午後6時まで）
▼相談方法 電話相談
電話 042-1775-1777
面接相談（予約制）
※その他詳しい内容は市HPをご確認ください。

ソレイユさがみ開館25周年記念事業！ 「ジェンダーギャップすごろく」を作成しました！

日本はジェンダーギャップ指数が低い
スイスの非営利財団である経済フォーラムが、経済、教育、健康、政治の分野毎にデータをウェイト付けして、ジェンダーギャップ指数を算出しています。日本は、148か国中118位（2025年）となっています。教育と健康の値は世界トップクラスですが、政治と経済の値が低いのが特徴です。

「ジェンダーギャップすごろく」をきっかけにみんなで考えよう！

ソレイユさがみでは、開館25周年記念事業として、一人ひとりが自分自身の「ジェンダーバイアス」に気づき、課題認識を共有するツールである「ジェンダーギャップすごろく」を作成しました。24のコマには、「女性は文系？男性は理系？」、「洗濯物取り込んでね」と兄ではなく妹に頼む母など、それぞれテーマが書かれており、止まったコマのテーマについて、話し合います。ソレイユフェスタの最終日にはワークショップ

を開催しました。人の話は最後まで聞く、意見を否定しないなどのルールのもと、年代も性別も様々な参加者が、それぞれの体験や考えを共有しました。「建前論と現実とのギャップ」や「性差より個人差!?」など、多様な意見が出されるとともに、若い人からは「教科書でしか知らなかった」との感想もあり、時代を超えた発見もあったようです。

ジェンダーギャップを考えるきっかけとして、年代や違いを楽しく受け入れるコミュニケーションツールとして、授業や研修などでジェンダーギャップすごろくを活用してみたいかでしょうか。（すごろくはソレイユさがみホームページで公開しています。）



ワークショップの様子



※ソレイユさがみの情報は、市ホームページで御覧いただけます。

男女共同参画の視点から、
各分野で活躍する方を紹介するコーナー

キラリ輝く人

「学び」とは人と人が出会って、交流することから生まれるものだと思うんです
ソレイユさがみもそんな「学び」を提供できる場にしていきたい

大学で教鞭を執りながら、ソレイユさがみの運営団体である男女共同参画さがみはら（サーラ）でも積極的に活動を続ける林さん。公私の垣根なく人との出会いを大切にされる林さんの原点とこれからのについて、さがみはら男女共同参画推進員がインタビューを行いました。

桜美林大学 准教授
特定非営利活動法人
男女共同参画さがみはら 副代表理事

林 加奈子さん

- 経歴
フィリピン、インドでの国際協力業務の経験を経て、平成19年5月 桜美林大学入職。
同大学にて助手、助教、講師を経て現在に至る。
令和5年4月～ 桜美林大学教育探究科学群 准教授
- 専門分野
開発教育、国際理解教育、国際開発学
- 所属学会・協会等
令和7年～ 日本文化人類学会
平成30年～ 国際ボランティア学会、日本教育学会
平成21年～ 日本国際理解教育学会
平成19年～ 国際開発学会、日本平和学会

- 委員会等
令和5年～ 特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら (NPO法人サーラ) 理事(副代表)
- 令和4年～ 東京都立町田高等学校定時制課程学校運営連絡協議会 協議委員
- 令和4年～ 東京都立町田高等学校定時制課程学校サポートチーム会議 委員
- 令和3年～ ソレイユさがみ(相模原市立男女共同参画推進センター) 企画事業委員会 委員
- 令和4年 企業事業委員会 委員
- 趣味、特技など
読書、犬の散歩
- ひとこと
保護犬(柴)4頭を飼っています。

ソレイユさがみとの出会い

現在は大学で教員として働く傍ら、NPO法人男女共同参画さがみはら（ソレイユさがみの指定管理団体。以下「サーラ」）で2023年から副代表理事をさせていただいています。

大学に「サービスマーケティング」という、座学に加えて、学生たちが学校の外に出て、地域の人と交流したり、地域貢献活動などをする授業があるんです。私がジェンダーの授業を担当することになってから、地域の色々な団体さんにお声掛けをして受け入れの協力を進めて、ソレイユさがみにもぜひ受け入れて欲しいというお願いをして、2018年から繋がりができました。

何年か協働していく中で、自分がソレイユさがみの中に入った方が、学生のアイデアを取り入れてもらえて相乗効果が出るんじゃないかなと思います。まず市民ボランティアに応募しました。2年ほど企画事業委員と委員として関わろうち、サーラの理事になりました。理事として活動するようになり、理事として活動するようになりました。

もともと教育者志望ではなかった

大学院（修士課程）ではインドの女性問題の研究をしていて、途上国が抱えている貧困問題などを何とかしたいという思いから、大学院卒業後にすぐフィリピンに渡って、現地の人たちと一緒に貧困問題の解決に取り組んでいました。ただ、現場で働くうちに援助への疑問が出てきて、だんだんと、「本当にこれでいいのかな」という思いが強まってきてしまっ。私自身は技術者ではないから提供できるノウハウもないし、現地語の難しさというハードルも相まって、自分の限界を感じてしまっただけですね。

続いてインドに飛んで、コルカタの総領事館（主に日本国民の保護や行政サービスのために設置される施設）で、現地の問題に取り組むNGO（ODA（政府開発援助）の資金を提供するという仕事をしていました。でも、いくら資金提供しても焼け石に水で、全然よくならない。そこで出会ったのが「開発教育」（貧困や格差などの開発問題が生み出される構造を理解し、より良い社会のあり方を考え、共に生きることができ

る公正な地域社会づくりを目指す市民教育）でした。現場を変えるのではなく、問題をつくり出している先進国の構造を変える必要があるなと思ったんです。
そう思っていたとき、帰国前に友人から、大学で学生たちに海外での現場経験を提供するプログラムのコーディネーターの仕事があると聞き、自分の経験を若い人に伝えていきたいと今の大学に入職しました。もともとは教育者になるつもりはなかったのですが、一縁をいただいで、もう少しで教員生活20年になります。

一人ひとりが「やりたい」を応援する教育

私が在籍している学部は、教育探究科学群とあって、学生一人ひとりの探究心を大事にし、やりたいことを伸ばしていくという教育をしています。学生たちは1年次から自分のテーマをもって探究します。私のゼミでは服の大量廃棄を減らしたいと探究している学生がいるのですが、ソレイユさがみの講座で、お父さんと子どもを対象に古着のTシャツを使ってエコバッグを作るというリメイクワークショップを開催する予定です。

ワーク・ライフ・バランスの重要性

近年ワーク・ライフ・インテグレーション（仕事とプライベート双方の充実を目的とし、両者を切り離すのではなく統合するという考え方）という言葉があります。私が大学で働いていることもあり、プライベートのつながりでも、その関わりを生とつないだりすることで、仕事にも生かせたりして相乗効果になるんです。

ただ、ワーク・ライフ・バランスは必要で、心身を壊してしまうような働き方はしなきゃいけないと思います。ワーク・ライフ・インテグレーション

ションとワーク・ライフ・バランスは使い分けていく必要があると思います。私自身も、独身時代はワーカホリックで、ずっと仕事ばかりしているみたいな感じだったんです。最近、締切があるとき以外はなるべく家で仕事はせず、夫や犬（保護犬4頭）と過ごす家庭の時間を大事にする、ということを意識してやっています。

ソレイユさがみの25周年とこれから

サーラとして、ソレイユさがみを引っ張ってくださった先輩方から、どう世代交代していくかが課題だと思っています。ソレイユさがみの立ち上げに関わっていた先輩方のお話を記録に残しておかなくないかと、少しずつ聴き取りをし始めたところなんです。

ソレイユさがみで開催している講座や講演会は、ヨガや料理教室のようアナクティブなものもありますが、多くは「知識伝達型」といって、一方向的なものなんです。私は、「学び」とは人と人が出会って、交流することから生まれるものだと思うので、従来のやり方以外での



さがみはら男女共同参画都市宣言のレリーフ前で
さがみはら男女共同参画推進員とともに

特集② さあ、動き出そう。女性が輝く「さがみはら」へ。 女性活躍推進さがみはら Action2025記念シンポジウム



キーワード
女性活躍推進法

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の略称。平成27年（2015年）に制定され、令和7年の改正により、法律の有効期限が令和18年（2036年）3月31日までに延長された。「(略)女性の職業生活における活躍を迅速かつ重点的に推進し、もって、男女の人権が尊重され、かつ、急速な少子高齢化の進展、国民の需要の多様化その他の社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある社会を実現すること（第1条）」を目的とする。

市内賛同事業者と女性活躍推進を宣言！

少子高齢化や人口減少社会の進行に伴う労働力不足、グローバル化の進展、価値観・ニーズの多様化などへの対応が求められる中、職業生活における女性の活躍を推進していくこと、そして、性別にかかわらず誰もがその個性と能力を發揮することができる男女共同参画社会を実現していくことはとても重要です。

そうした中、2025年は、男女雇用機会均等法制定から40年、女性活躍推進法制定から10年となる節目の年に当たり、また、相模原市においては、「さがみはら男女共同参画都市宣言」から25年目の年でもあります。

そこで、都市宣言から25年目となる2025年7月8日、男女共同参画・女性活躍推進に係る機運の更なる醸成を図るため、事業所における女性活躍の推進に焦点を当てた「女性活躍推進さがみはらAction2025記念シンポジウム」を相模原市立男女共同参画推進センター（ソレイユさがみ）で開催しました。

会場内の参加者の熱気で満たされたシンポジウム当日の様子の一部をお伝えします。

【基調講演】女性が働きやすい職場が生み出す好影響

基調講演として、「中小企業から始める女性活躍推進〜未来をつくる人材戦略〜」をテーマに、社会保険労務士であり、様々な企業のダイバーシティ経営等を支援してきた高野美代恵さん（オフィスME社会保険労務士事務所代表）に講演をしていただきました。

女性活躍の推進は、女性だけの活躍を目指しているものではなく、女性の活躍をきっかけとして、多様性、ダイバーシティを推進していくものであることやその効果として、企業イメージの向上、優秀な人材確保、イノベーションの創出などに繋がります。

ていくことなどの話がありました。

また、ダイバーシティ経営のステップや「えるぼし認定（※1）」の取得に至るまでのプロセス、具体的な中小企業での取組事例などを紹介いただき、中小企業こそ柔軟性を強みに、変革の先駆けになれる存在であるなどのメッセージで締めくくられました。



基調講演の様子

【パネルディスカッション①】中小企業が実現する「女性活躍」

「動き出そう。新たな企業風土の構築へ〜事例から考える誰もが活躍できる職場〜」をテーマに、市内事業

者を代表し、近藤千奈美さん（株式会社コンテックス）、安中幸嗣さん（株式会社東洋アクアテック）、小田中奈穂美さん（株式会社リガルジオイント）によるパネルディスカッションを行いました。

三社は、それぞれ女性活躍や誰もが働きやすい職場づくりに取り組み、「相模原市仕事と家庭両立支援推進企業表彰（※2）」や「えるぼし認定」を受けています。

「ワーキンググループの立ち上げによる課題解決」、「制度の整備と並行した従業員の意識改革」、「女性管理職の積極登用、女性の再雇用促進」など実際の取組を紹介いただきました。

【パネルディスカッション②】若い世代と考えるジェンダー・バイアス

パネルディスカッション②では、「若い世代と語る、仕事と家庭のアンコンシャス・バイアス」をテーマに、廣田静香さん（相模原青年会議所）、志賀祐介さん（相模原青年会議所）、市職員2名に登壇いただき、20代、30代のパネリストと仕事と家庭、アンコンシャス・バイアスについて考えました。



事業者によるパネルディスカッションの様子

市が行った簡易アンケート結果などを題材に、子育てや仕事における男女差、女性活躍に関して取り組んでいること、「無意識の偏見」と言われるアンコンシャス・バイアスに気づくために必要なことなどについて意見交換を行いました。

女性活躍推進さがみはら Action2025宣言

シンポジウムの最後には「女性活躍推進さがみはらAction2025宣言」を本村市長が行いました。性別にかかわらず、誰もがその個性と能力を發揮し、自分らしく活躍

することができる「さがみはら」を見据え、様々な分野において女性の活躍を推進していくことを宣言しました。

今回、この宣言の実施に当たり、女性活躍の推進に係る理念に賛同する事業者を募集し、市内64の事業者の皆様が賛同いただきました。

今回のシンポジウムを契機に、「女性が輝く「さがみはら」へ」更なる取組を進めてまいります。



宣言の集合写真



賛同事業者やシンポジウムの様子(令和8年3月31日まで)は、市ホームページで御覧いただけます。

※1 えるぼし認定…女性の継続就業や管理職比率など女性の活躍推進に関する取組の実施状況が優良である等の一定の要件を満たした企業を国が認定する制度
※2 相模原市仕事と家庭両立支援推進企業表彰…仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組み、その成果をあげている企業を市が表彰する制度

提案企画をソレイユさがみで実現しませんか？

ソレイユさがみ市民企画講座

「〇〇の講演会をやりたい」、「こんなイベントがあったら父子で楽しめそう」、「性別特有の健康課題を改善する企画はないかな」・・・そんな発想で、「男女共同参画社会」の実現をめざす企画を提案してみませんか？ソレイユさがみでは、毎年市民企画講座を募集しています。企画説明会でプレゼンが承認されると、3万円を上限に講師等謝礼を負担するほか、セミナールーム会場を提供します。対象となるテーマや条件の詳細は、ソレイユさがみホームページでご確認ください。

毎年度4月1日から募集を開始します。(令和7年度は予算額に達したため、募集を終了しました。)

令和7年度の助成決定実績(3団体)

企画団体/医療法人ソフィア

日時/令和7年11月8日(土) 10:00~11:30

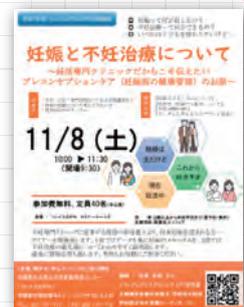
会場/セミナールーム2

内容/妊娠と不妊治療について

妊活専門クリニックだからこそ伝えたいプレコンセプションケア(妊娠前の健康管理)のお話

講師/安澤 圭昭さん(ソフィアレディスクリニック生殖補助医療胚培養士)

対象/学生(大学・専門学校など)および保護者、将来の妊娠について考えてみたい方、現在妊活中のカップルなど



企画団体/話交会

日時/令和7年12月9日(火) 14:00~16:00

会場/セミナールーム2

内容/いきいき生きるコツ

~あなたは まわりの人とコミュニケーションが取れていますか?~

講師/辰巳 厚子さん

(桜美林大学・大妻女子大学講師 専門分野 余暇学・生涯学習)

対象/成人男女



企画団体/Sun San(さんさん)

日時/令和8年1月25日・2月8日(日) 10:00~正午

会場/セミナールーム1

内容/バランスボールとアートでワクワクきッズタイム

~動いて!作って!Let'sチャレンジ!!~

講師/mariさん(バランスボール&親子講座サロン「cheerful」主宰)

osayuさん(アート×食育×サイエンス「といたい庵主宰」)

対象/年長~小学生の子どもとその保護者(2回参加できる方優先)



【お問い合わせ】 ソレイユさがみ(相模原市立男女共同参画推進センター)

〒252-0143 相模原市緑区橋本6-2-1 シティ・プラザはしもと内(イオン橋本店6階)

JR・京王橋本駅北口徒歩1分

Tel 042-775-1775 Fax 042-775-1776

ソレイユさがみは、指定管理者「特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら(NPO法人サーラ)」が管理・運営しています



発行 相模原市役所(人権・男女共同参画課) 〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15 電話042-769-8205(直通)

協力 さがみはら男女共同参画推進員(池村 明美、岸 克彦、小林 和代、高田 真理、長谷川 涼子、村上 治美)

「ともに」は、法務省の人権啓発活動地方委託費を活用しています。